

第1 平成25年度予算編成について

現在の我が国の景気は、弱い動きとなっているものの、一部に下げ止まりの兆しも見られており、先行きについては、輸出環境の改善や政府の経済対策の効果などにより、再び景気回復へ向かうことが期待されるが、ヨーロッパの政府債務危機、アメリカにおける財政問題等の影響による海外景気の下振れが、我が国の景気を押し下げるリスクがある。

こうした経済情勢の下での県税収入は、企業の通期業績予想等を踏まえ、一定程度の増が見込まれるものの、医療・介護などの扶助費や公債費が確実に増加しており、依然として厳しい財政運営を強いられている。

このため、2か年にわたる財源調整により、財源の確保を図ることにした。具体的には、平成24年度の減債基金の取崩額の一部を取り止め、平成25年度に再度活用するなど最大限の財源確保を行ったところである。

その上で、なお残る収支不足を解消するため、臨時的・緊急避難的措置として、基金からの繰入運用を行うとともに、職員の給与抑制を行わざるを得なかった。

このように、厳しい財政状況の下での予算編成ではあるものの、産業競争力の強化や県民のくらしの安心・安全の確保、さらには、愛知の飛躍に向けた新たな取組にも意を用いることとした。加えて国の経済再生の取組に呼応した切れ目のない予算編成など、まさに今、取り組むべき緊急的な課題に、しっかりと対応する必要がある。

そこで、以下の「7つの柱」の施策を重点に、予算編成を行ったところである。

- (1) 元気な経済・産業・地域づくり
- (2) 安全で災害に強い地域づくり
- (3) 環境首都あいちづくり
- (4) 安心できる健康・医療・福祉社会づくり
- (5) 教育・文化立県あいちづくり
- (6) 地域の潜在力を引き出す社会基盤づくり
- (7) 自立・分権・協働の行財政体制づくり